



川上洋司

HIROSHI
KAWAKAMI
RETIREMENT
COMMEMORATION
CONCERT

3/17 2018
Sat

東京藝術大学退任記念演奏会

東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

open 14:30 start 15:00

入場無料(裏面を参照の上、往復はがきでお申込みください。)

曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

曲目 7つのスペイン民謡 1. ムーア人の織物 2. ムルシア地方のセギディーリャ

3. アストゥーリア地方の歌 4. ホタ 5. 子守歌 6. 歌 7. ポロ 作曲 ファリャ タベの歌 作曲 サントリークイド 他

出演 tenor 川上洋司 mezzo-soprano 永井和子 (特別出演)

tenor 西村悟 tenor 又吉秀樹 piano 牧口純子

主催 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

共催 東京藝術大学音楽学部同声会

川上洋司 東京藝術大学 退任記念演奏会



テノール
川上 洋司

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了。オペラ研修所修了。渡邊高之助、高 丈二、L. グワリーニ、P. M. フェッラーロの諸氏に師事。1984年から1987年までイタリア共和国・ミラノ市に留学。1985年、1986年＜ヴェルディの声＞国際コンクールに入選。1986年6月トーティ・ダル・モンテ国際声楽コンクールでマリオ・デル・モナコ賞受賞。同10月ベッリーニ国際声楽コンクールに第3位入賞(1位なし)。1984年フィレンツェ市フチェッキオにおいて「ラ・ボエーム」に出演、主役のロドルフォを演じた他、1985年ミラノ市でコンサート形式による「ラ・ボエーム」のロドルフォを、1986年ヴィラフランカで「仮面舞踏会」のリッカルドを演ずる。1984年から1987年までにミラノ市をはじめイタリア各都市において30回のコンサートに出演する。1987年7月ヴェルディの生地ブッセートにおいて夏のオペラ・フェスティバルに参加。イタリアの名テノール、カルロ・ベルゴンツィ氏の代役として、「運命の力」のドン・アルヴァーロを演じ、絶賛される。1988年二期会公演「カルメン」でドン・ホセを、1989年「運命の力」でドン・アルヴァーロ、「椿姫」でアルフレードを、1990年「お蝶夫人」でピンカートンを、と立て続けに出演し、張りのある美声と端正な歌唱でいずれも高い評価を得ている。1992年3月の二期会初の言語上演による「カルメン」でもドン・ホセで出演し好評を博した。1995年日伯修好百年記念「夕鶴」ブラジル公演で大喝采を浴びる。1997年2月には二期会公演「カヴァレリア・ルスティカーナ」でトゥリッドゥを演じ、更にレパートリーを広げている。1998年9月には新国立劇場・二期会共催公演「アラベッラ」でマッテオ役を、2000年3月には同じく共催の「沈黙」に出演、大好評を博す。コンサートでも活躍しており、N響をはじめ主要オーケストラと、「第九」(ベートーヴェン)、「千人の交響曲」「大地の歌」(マーラー)、「テ・デウム」(ブルックナー)、「スタバト・マーテル」(ロッシーニ)他で共演し、好評をえている。東京藝術大学教授、東京音楽大学客員教授、二期会会員。

東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

申し込み方法 (下記参照の上、往復はがきでお申込みください。)

1名様につき1枚。※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮いただいております。

〔往信ハガキ〕①郵便番号とご住所 ②お名前(ふりがな) ③電話番号を明記の上、〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部声楽科「川上洋司退任記念演奏会」宛へ 2018年2月9日(金)までにお送りください(当日消印有効)。

〔返信ハガキ〕送り先をご記入ください。

なお、応募多数の場合は厳正なる抽選の上、ご当選者を決定し当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。2月16日(金)発送予定。

【お問い合わせ】

東京藝術大学音楽学部声楽科研究室 050-5525-2327

東京藝術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

大学ホームページ <http://geidai.ac.jp>

川上洋司退任記念演奏会実行委員会

concert.hiroshi.kawakami@gmail.com

photo:Taira Tairadate design:Kojiro Otsuka

